

## 「50周年の節目に活動でき 感謝」

戸塚区青少年指導員協議会 会長 藁科 文男



青少年指導員制度50周年記念誌発行、おめでとうございます。また、この記念すべき50周年の節目に活動できることに感謝しております。

戸塚区の青少年指導員協議会は、昭和45年に発足し、10年目には、各地区でキャンプやハイキングなどに力を入れるようになり、活動も順調になりました。そして、55年にはJR東戸塚駅が開業するなど、戸塚区は大きく変化しました。それに合わせるように区の活動も、地引網、映画会、スケート教室、紙ヒコーキ大会、みかん狩りなど、また平成の頃に、ウォーク、チャレンジフェスティバルへと変わっていきました。中学生対象では、昭和58年の丹沢登りに始まり、スキー教室、ボウリング大会、青少年防災対応力強化研修へと、年々工夫をこらしながら変化してきました。

これらの活動は、少子高齢化、情報化、国際化、消費社会化など青少年を取り巻く環境に対応したものでもあり、諸先輩方の努力の積み重ねでもあります。今後も、県、市の協議会の下、社会環境に対応した青少年の健全育成に努めてまいりたいと思います。

## 「青少年指導員制度50周年を祝して」

戸塚区長 田雑 由紀乃



青少年指導員制度50周年、誠におめでとうございます。

戸塚区で行われる「チャレンジフェスティバル」では、スリッパ飛ばしや大声出しなど、19もの種目に懸命に取り組む子どもたちの姿を見ると思わず笑顔がこぼれます。昨年の自分を越えようとする向上心や経験を積むことはとても大切で、将来を担う人材の育成につながっています。

また、平日の昼間における防災対応力の強化を目的に、「青少年防災対応力強化研修」も行われています。受講する中高生のみならず教える側の青少年指導員の皆様にも、実践的な知識・技術の習得をしていただく場となって、地域での安全・安心の向上に、大きな財産となっています。

この他、各地区におけるキャンプや工作体験など、地域に密着し根づいた取組で、子どもたちを笑顔にするとともに、得難い体験の機会を提供してくださっています、本当にありがとうございます。

最後になりましたが、本市の青少年指導員の皆様のますますのご発展とご活躍を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 戸塚区青少年指導員協議会概要

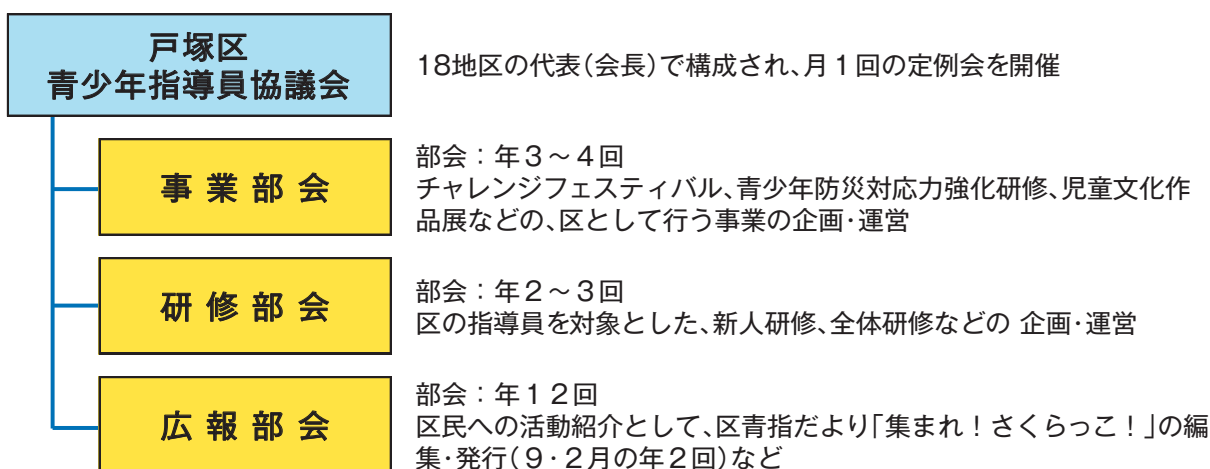
## 平成31年には区制80周年に

東海道の宿場町として栄えた戸塚、明治20年には戸塚駅が開業、そして昭和14年に戸塚区が誕生しました。昭和44年瀬谷区と分区し、55年の東戸塚駅開業を経て、61年には栄区、泉区と分区しました。現在、面積は市内1位、人口は4位、人口密度は10位です。5～19歳の青少年数は区内の14.3%を占めています。平成31年には区制80周年を迎えます。



「東海道五拾三次之内 戸塚 元町別道」  
(横浜市中央図書館所蔵)

## 3つの部会を中心に活動を展開



## 「活発な地域活動」が自慢

### 戸塚区の地区図

( ) 青少年指導員の人数  
戸塚区合計：211名



区としての活動の他、地区活動として、クリスマスリース・ツリー、ミニ門松、竹とんぼ、凧、紙ヒコーキ、和紙作りなどの工作教室や、お菓子、うどん、パン作りなどの料理などの児童文化教室。

またウォーキング、マラソン、ドッジボール、インディアカなどのスポーツ大会。凧揚げ、キャンプ、芋堀り、潮干狩り、流しそうめん、ダンボール迷路、地域清掃、社会見学会などの体験活動。

そして指導員によるパトロール、地域のイベントでの模擬店や運動会の運営など、さまざまな活動をしています。

地域での活動が活発なところが、戸塚区の自慢の一つです。

## 戸塚区活動紹介

戸塚区の協議会として活動している内容を、写真で紹介します。

### チャレンジフェスティバル

毎年5月に、戸塚小学校の体育館と校庭で開催。500名ほどの小学生が集まり、19種目にチャレンジしています。



みんなで準備体操  
24回目を迎えたチャレンジのチャラシ

**第24回チャレンジフェスティバル**

開催日時：平成29年5月21日(日) 9:00～13:00  
開会式：9時20分 受付は10:30まで、競技終了は11:50です  
場所：戸塚小学校(雨天時は、体育館のみ実施)

上着を着ないようご注意ください。

幅跳び	ジャンプ	片足立ち	ちくちくつかまつり	縄力	片足せわとび	数字かき	お手玉
はねつき	輪投げ	けん玉	記憶力	平均台	コマせりし	スリッパとぼし	丸太切り
大戸出し	ドッジ	グラウンドゲーム	幼児コーン	お楽しみ抽選会			

お申し込み抽選会  
お申し込みは、各地区の子ども会、青少年指導員にお申し込みください。  
お申し込みは、各地区の子ども会、青少年指導員にお申し込みください。  
お申し込みは、各地区の子ども会、青少年指導員にお申し込みください。

主催：戸塚区青少年指導員協議会  
共催：戸塚区子ども会連絡協議会  
後援：戸塚区役所  
協賛：山崎製パン 横浜第一工場



丸太切り



数字かき



お手玉



スリッパとぼし

### 青少年防災対応力強化研修

毎年11月頃、中高生を対象に、災害時に役に立つ研修を開催しています。



戸塚区の中学校・高校から参加

人気のはしご車の体験も



初めて体験した放水



昼食も災害時を想定したメニューに



AEDの使用法や心肺蘇生などを体験

### 児童文化作品展

12月に、戸塚地区センターにて開催し、各地区で行った工作作品の展示とプラスチックの板を使った工作教室などを実施しています。



各地区の作品が一堂に



人気のプラ板工作とバルーンアートのコーナー

## 新人研修会

6月に、青少年指導員としての基礎知識を学びます。



先輩の話しを熱心に

## 全体研修会

全員を対象に、スキルの向上や親睦を深める研修会です。



ソフトバレーで親睦も

## さくらっこの発行



年2回、青少年指導員の活動を、区民の皆様にご覧いただくため、青指だより「さくらっこ！」を発行しています。

## 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル(共催)

区内の小中高生を対象にした、やきもの体験教室(8月)、舞台発表(10月頃・1月)、作品展(1月)を行う「戸塚っ子いきいきアートフェスティバル」の共催も行っています。



年2回開催される舞台発表



区庁舎3階で、素晴らしい作品が展示され、来場者も多く訪れる(作品展には明治学院大学も出展しています)



上矢部高校陶芸部の指導にて

## その他の活動



**区民まつり出店**：毎年11月3日、東戸塚小学校で開催される「区民まつり」に、青少年指導員のブースを設け、子どもたちに工作の指導や、青少年健全育成の啓発活動を、また各地区青少年指導員では、ヤキソバ、たこ焼き、うどん等の模擬店を出店しています。



**パネル展で活動紹介**：区庁舎3階の区民広間にてパネル展を開催し、各地区の活動の様子と作品を展示しています。



**お結び広場出展**：区庁舎3階の区民広間を中心会場として、区内のボランティア団体が一堂に集まり、その中で、青少年指導員のコーナーを設け、活動のPRを行っています。



**社会環境実態調査とパトロール活動**：7月には、社会環境の実態把握と、活動のPRも兼ね、横浜市青少年指導員による全市一斉統一行動パトロールを行っています。戸塚区では、各地区で、繁華街や公園などをパトロールしています。

## 「青少年指導員の活動を省みて」

栄区青少年指導員協議会 会長 小西 淳一



平成元年、青少年指導員の委嘱をうけ活動を始めました。青指の役割は当時から子どもたちの健全育成と変わっていませんが、その時々々の世相を反映し、近年はスマートフォンの普及でSNSや個人情報など、子どもたちを取り巻く環境は、より複雑になってきています。子どもたちが仲間と共に活動する意義や楽しさ、大切さを理解、体験し、社会性を身に付けてもらうことが青指の活動の大きな目的と考えています。

栄区青少年指導員協議会の最も大きな行事として、27回目を迎える「SAKAE ヤングフェスティバル」があります。区内全中学校が参加し、模擬店やステージなど企画段階から中学生が加わって、実施・運営までを行っています。また各地区では、「収穫体験」「しめ飾り作り」「どんど焼き」など、地域の特性を活かした様々な行事を通して、子どもたちが「仲間って良いもんだな」と感じてもらえるよう活動しています。

これからも、青少年指導員の活動が子どもたちの健全育成に寄与し続けることを願っています。

## 「青少年指導員制度50周年に寄せて」

栄区長 小山内 いづ美



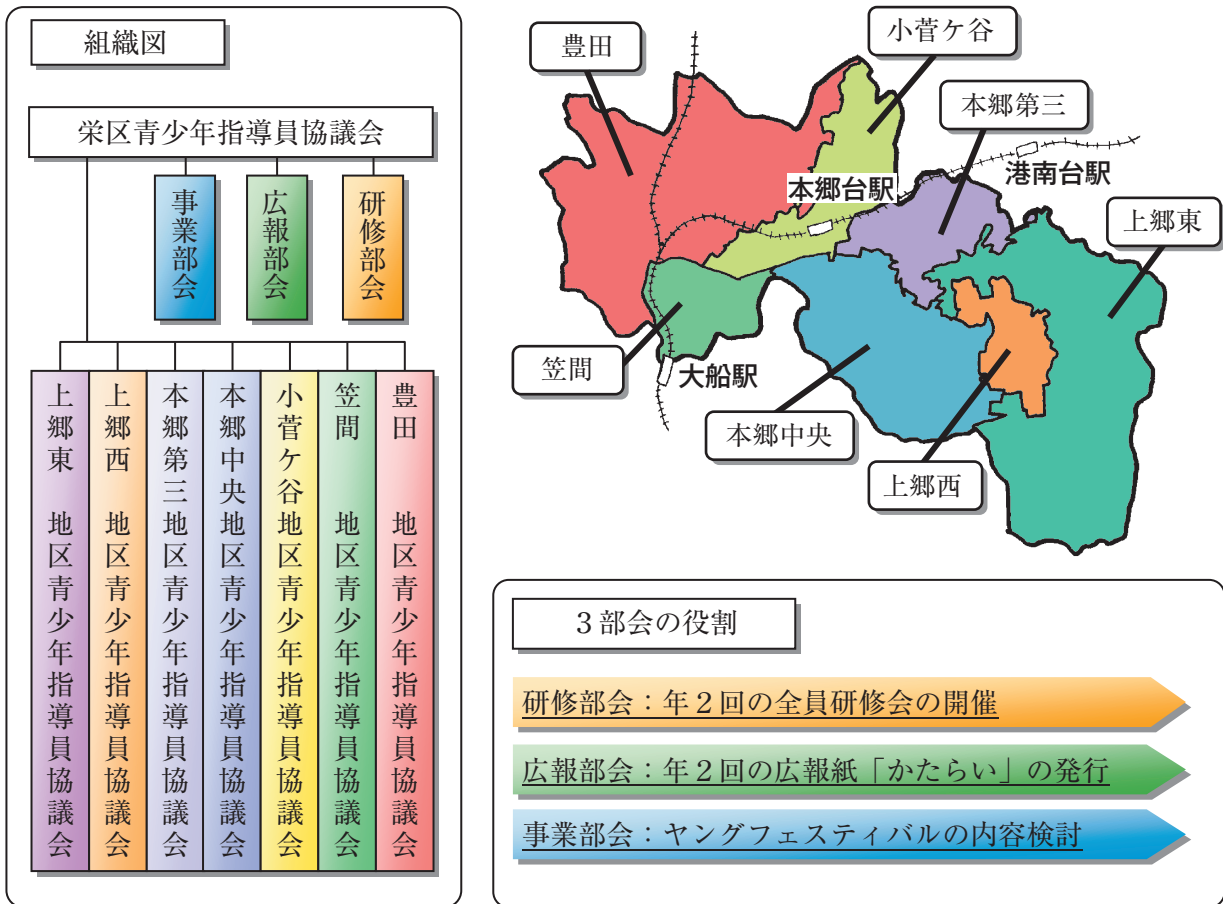
青少年指導員制度が発足して50周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。また、青少年指導員の皆様におかれましては、青少年の健全育成のため地域において日々活躍されていますこと、改めて感謝申し上げます。

さて、栄区は昭和61年に戸塚区から分区し、平成28年11月に区制30周年を迎えました。「感謝・つながり・夢」をテーマに、地域と区役所が一丸となって、500日に渡る様々な記念事業が開催され、栄区全体が大いに盛り上がりました。

栄区青少年指導員の皆様が主体となって開催している、中学生が主役の祭典であるSAKAE ヤングフェスティバルでは、皆様の工夫によって、区制30周年記念事業のクロージングイベントにふさわしく、会場は例年以上の大きな賑わいを見せました。

区制30周年記念事業を通して生まれた「思い」と「つながり」を大いに活かしていただき、今後の青少年指導員の皆様のますますの御発展と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 栄区青少年指導員協議会の概要



## 委嘱人数

7つの連合町内会に所属する104名  
(平成29年4月現在)が活動しています。

- ・ 豊田地区 (18名) ・ 本郷第三地区 (12名)
- ・ 笠間地区 (15名) ・ 上郷西地区 (12名)
- ・ 小菅ヶ谷地区 (14名) ・ 上郷東地区 (13名)
- ・ 本郷中央地区 (20名)



全員研修会の様子

## 年間行事予定

- ・ SAKAEヤングフェスティバル開催 (3月)
- ・ 全員研修会 (6月ごろ、2月ごろ)
- ・ 広報紙「かたらい」発行 (6月、11月)
- ・ 定例会 (8月を除く各月)
- ・ それぞれの活動のための会合を随時開催



広報紙「かたらい」  
(平成29年6月発行号)

## 栄区青少年指導員の活動紹介

栄区は平成28年に区制30周年を迎えました。旧戸塚区時代からの青少年指導員活動を引き継ぎ、地域と協力して日々活動しています。

その活動の中でも、栄区を代表する行事のひとつとして毎年開催している『SAKAE ヤングフェスティバル』を御紹介いたします。



## SAKAEヤングフェスティバルとは

SAKAEヤングフェスティバルは、区内の青少年の健全育成や地域の交流を深めるために、栄区青少年指導員協議会と栄区役所の共催により平成3年3月から開催されている事業で、「ヤングフェス」の愛称で親しまれています。

主催はSAKAEヤングフェスティバル実行委員会(主管：栄区青少年指導員協議会)で、ステージや模擬店を中心に、企画から当日の運営まで、区内の中学生と地域の大人達が協働で行います。



会場である本郷台駅前広場と本郷台駅前公園では、駅利用者など多くの方々に御観覧いただいています。



区内中学校によるステージ発表



賑わう模擬店の様子

## SAKAEヤングフェスティバルの沿革

平成3年3月栄区役所を会場に第1回SAKAEヤングフェスティバルを開催

当初は「お客さま」だった中学生が、企画段階や本部スタッフとして参加するようになり、中学生が主役となる現在の姿になりました。現在は区内の各中学校、本郷特別支援学校、子ども会などが模擬店やステージを競い合っています。



山形県道志村の中学生による  
「東富士 七里太鼓」の披露

平成14年から会場が本郷台駅前に移動

以降、駅前商店街を始め、区内の多数の企業様より協賛をいただいています。また、長野県栄村、山梨県道志村との交流を行っています。

平成23年は震災の影響により初の中止

東日本大震災の影響により初の中止となりましたが、本部スタッフで参加予定だった中学生を中心に、東日本大震災及び栄村大震災(翌12日)の震災被害に対する募金活動を行いました。



中学生が主役の一日に

平成25年3月からは、『栄区中学校対校駅伝大会』が同日開催されるようになり、栄区の中学生の祭典として、ますます区民の皆様にご期待を頂く行事となっています。

このように、時代と共に成長するSAKAEヤングフェスティバルを継続して開催することが、私たちの使命のひとつであります。